



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社
 コード番号 3945 URL <http://www.superbag.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福田晴明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 吉田精一
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 04-2938-1244

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	25,952	△4.6	826	437.9	704	349.0	481	518.6
28年3月期第3四半期	27,194	△0.5	153	—	156	—	77	145.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 436百万円 (987.9%) 28年3月期第3四半期 40百万円 (△81.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	31.44	—
28年3月期第3四半期	5.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	19,412	4,120	20.6
28年3月期	17,786	3,776	20.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,001百万円 28年3月期 3,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	6.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△3.3	1,000	232.2	900	240.9	600	328.6	39.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	16,861,544 株	28年3月期	16,861,544 株
29年3月期3Q	1,561,345 株	28年3月期	1,558,471 株
29年3月期3Q	15,301,754 株	28年3月期3Q	15,305,693 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善の動きがみられ緩やかな回復基調で推移いたしました。米国・欧州における政策の不確実性やアジア新興国の金融市場の動向等に起因する為替変動リスクが懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは『収益力とグループ総合力の強化に向けた変革』を基本方針として、安定した収益の確保に向け、「売上と利益の確保・拡大」、「生産利益の向上」、「購買力（仕入品調達力）の強化」、「物流コスト削減」、「間接部門の効率化、経費削減」を課題として、引き続き需要の開拓と徹底したコスト削減に取り組み、業績の回復に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25,952百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益826百万円（前年同四半期比437.9%増）、経常利益704百万円（前年同四半期比349.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益481百万円（前年同四半期比518.6%増）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント利益（営業利益）は、10ページ「セグメント情報等」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用498百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、主力の手提袋や紙器の販売金額の増加などにより、売上高は前年同四半期に比べ40百万円増加して10,503百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は生産効率の向上やコスト削減に努め、前年同四半期に比べ134百万円増加して642百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、主力のレジ袋の販売数量減少などにより、売上高は前年同四半期に比べ1,161百万円減少して10,276百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料価格および仕入価格の低減などにより、前年同四半期に比べ500百万円増加して614百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、清掃用品や販売用品の減少などにより、売上高は前年同四半期に比べ120百万円減少して5,172百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は売上高減少も仕入商品の利益率改善により、前年同四半期に比べ27百万円増加して67百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,625百万円増加して19,412百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が1,769百万円増加、未収入金が190百万円増加した一方、現金及び預金が484百万円減少、電子記録債権が112百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,350百万円増加の13,400百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の時価評価差額が44百万円増加、設備投資等により581百万円増加した一方、有形固定資産の除却および減価償却費等で363百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ274百万円増加の6,011百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,281百万円増加して15,291百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が656百万円増加、短期借入金及び長期借入金が345百万円増加、未払法人税等が92百万円増加、リース債務が182百万円増加した一方、電子記録債務が106百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ344百万円増加して4,120百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益計上により481百万円増加した一方、剰余金の配当で91百万円減少、為替換算調整勘定が116百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の20.5%から20.6%になりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、経済対策の効果や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復への期待感があるものの、消費者物価は当面横ばい圏内で推移することが見込まれております。また当社におきましては、原材料および為替の市況が輸入品の仕入コストに与える影響への懸念から、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

なお、最近の業績動向を踏まえ、平成28年10月24日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,340	855
受取手形及び売掛金	5,844	7,613
電子記録債権	1,221	1,108
商品及び製品	2,490	2,483
仕掛品	387	329
原材料及び貯蔵品	447	527
繰延税金資産	115	67
その他	205	418
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	12,049	13,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,446	6,295
減価償却累計額	△5,139	△4,938
建物及び構築物 (純額)	1,306	1,356
機械装置及び運搬具	10,762	10,096
減価償却累計額	△9,934	△9,318
機械装置及び運搬具 (純額)	828	777
土地	1,123	1,123
リース資産	409	609
減価償却累計額	△126	△156
リース資産 (純額)	283	452
建設仮勘定	80	111
その他	814	783
減価償却累計額	△772	△723
その他 (純額)	41	59
有形固定資産合計	3,664	3,881
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	0	-
その他	42	33
無形固定資産合計	58	49
投資その他の資産		
投資有価証券	1,440	1,475
破産更生債権等	1	4
事業保険金	84	86
差入保証金	256	256
退職給付に係る資産	142	203
繰延税金資産	97	64
その他	3	4
貸倒引当金	△11	△14
投資その他の資産合計	2,014	2,080
固定資産合計	5,737	6,011
資産合計	17,786	19,412

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,458	6,115
電子記録債務	2,115	2,009
短期借入金	2,505	1,999
リース債務	42	61
未払金	533	599
未払法人税等	50	143
未払消費税等	29	72
賞与引当金	220	124
設備関係支払手形	0	56
設備関係電子記録債務	57	73
設備関係未払金	7	9
その他	189	194
流動負債合計	11,211	11,458
固定負債		
長期借入金	1,806	2,658
リース債務	255	418
役員退職慰労引当金	67	78
環境対策引当金	4	4
退職給付に係る負債	665	673
固定負債合計	2,799	3,833
負債合計	14,010	15,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,450	1,450
利益剰余金	940	1,329
自己株式	△259	△259
株主資本合計	3,505	3,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173	203
繰延ヘッジ損益	△19	9
為替換算調整勘定	81	△35
退職給付に係る調整累計額	△86	△71
その他の包括利益累計額合計	149	106
非支配株主持分	121	119
純資産合計	3,776	4,120
負債純資産合計	17,786	19,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	27,194	25,952
売上原価	23,253	21,189
売上総利益	3,940	4,763
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,876	2,025
給料及び手当	1,161	1,177
賞与引当金繰入額	56	61
退職給付費用	52	50
賃借料	130	133
旅費及び交通費	76	81
その他の経費	433	406
販売費及び一般管理費合計	3,787	3,936
営業利益	153	826
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	23	24
持分法による投資利益	26	23
為替差益	26	-
受取賃貸料	23	21
作業くず売却益	5	4
受取保険金	4	-
雑収入	15	15
営業外収益合計	126	89
営業外費用		
支払利息	77	63
為替差損	-	129
貸倒引当金繰入額	0	0
役員退職慰労金	24	-
その他	20	18
営業外費用合計	123	211
経常利益	156	704
特別利益		
固定資産売却益	0	9
投資有価証券売却益	0	0
補助金収入	-	5
特別利益合計	0	14
特別損失		
固定資産売却損	-	6
固定資産除却損	0	26
特別損失合計	0	33
税金等調整前四半期純利益	156	686

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
法人税、住民税及び事業税	24	141
法人税等調整額	66	47
法人税等合計	91	188
四半期純利益	65	497
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	77	481

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	65	497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	30
繰延ヘッジ損益	△25	29
為替換算調整勘定	△16	△120
退職給付に係る調整額	18	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△14
その他の包括利益合計	△25	△60
四半期包括利益	40	436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54	438
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,462	11,438	5,293	27,194	—	27,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,462	11,438	5,293	27,194	—	27,194
セグメント利益	508	113	40	663	△509	153

(注) 1 セグメント利益の調整額△509百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,503	10,276	5,172	25,952	—	25,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,503	10,276	5,172	25,952	—	25,952
セグメント利益	642	614	67	1,324	△498	826

(注) 1 セグメント利益の調整額△498百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。